

第2学年 音楽

第2学年の学習到達目標

- (1) 楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴くようにする。

第2学年の主な学習内容

学期	単元名 ◎は鑑賞教材	学習のねらい	学習内容
前期	導入 ○ジェットコースター ◎トランペットふきの休日 ◎「ディベルティメント」から ○小さなはたけ	●楽曲の気分を感じ取って、歌い方や身振りを工夫して楽しむことができるようにする。 ●楽器の掛け合いや重なり、強弱や速度の変化などを感じ取って聴くことができるようにする。	○合いの手の声の表現や楽器の音の出し方を工夫する。 ○強弱に合わせて歌い方や身振りを工夫する。
	よびかけっこでなかよし ○山びごっこ ○かくれんぼ	●フレーズを交互に歌う面白さを感じ取って表現することができるようにする。	○互いの声を聴き合い、歌い方や強弱、表情を工夫しながら交互唱する。
	ことばでリズム ◎どうぶつの歌 ○こいぬのビンゴ ○ぴよんぴよこロックンロール ○おまつりワッショイ	●2拍子や4拍子の流れにのって、歌ったりリズムを打ったりして楽しむことができるようにする。 ●音符・休符について、表現を通して理解することができるようにする。	○拍の流れにのり、リズム打ちや言葉のリズムで遊ぶ。 ○音符の長さや休符について、表現活動しながら楽しく理解する。
	楽しくドレミ ○ドレミの楽器であそぼう ○かえるのがっしょう	●階名唱に慣れ、楽器で演奏して楽しむことができるようにする。	○奏法に気を付けながら鍵盤楽器を演奏したり、簡単な旋律をつくったりする。 ○輪唱を楽しむ。
	<にっぽんのうた みんなのうた> ○虫のこえ	●歌詞の表す情景を想像し、思いをもって歌うことができるようにする。	○旋律の反復やリズム、擬音の面白さを感じ取って歌う。
	【音のスケッチ】 ○虫の声をつくろう	●楽器や音素材の響きに関心を持ち、工夫して表現することができるようにする。	○虫の鳴き声に合う音をさがし、リズムをつくる。
後期	いい音見つけて ◎ゆかいな時計 ○森のたんけんたい	●楽器の音色やリズムの繰り返し・変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴くことができるようにする。 ●楽曲に合う音を探したり工夫したりして、演奏することを楽しむことができるようにする。	○楽器の音色や反復するリズムに気付いて聴き、想像したことを話し合う。 ○音楽に合わせて、楽器や音素材を選んで演奏する。
	<にっぽんのうた みんなのうた> ○夕やけこやけ	●楽曲の気分を感じ取って、気持ちを込めて表現することができるようにする。	○歌詞の内容から、情景や気分を想像する。 ○歌声に気を付け、歌い方や強弱を工夫する。
	おまつりの音楽 ○村まつり ◎日本のたいこ	●楽曲の気分を感じ取って、生き生きと歌うことができるようにする。 ●いろいろな太鼓の音楽の特徴を感じ取って聴くことができるようにする。	○楽曲のもつリズムに気付き、曲想にふさわしい表現を工夫する。 ○いろいろな太鼓の音の特徴に気付いたり、面白さを感じ取ったりして聴く。

<p>【音のスケッチ】 おまつりの音楽をつくろう</p>	<p>●リズムや掛け声をつくり、拍にのって表現することができるようにする。</p>	<p>○つくったリズムや掛け声を交互に演奏し、強弱などを工夫して全体を構成する。</p>
<p>ようすを音楽で そりすべり ○こぎつね ○汽車は走る ◎しゅっぱつ</p>	<p>●楽器の音やリズムを捉え、情景を想像しながら聴くことができるようにする。 ●反復を生かし、速度や強弱を工夫して、情景を音楽で表すことができるようにする。</p>	<p>○歌詞の意味を理解し、情景を思い浮かべながら歌ったり、聴いたりする。 ○旋律の特徴を生かして、表現を工夫する。</p>
<p>みんなの音楽パーティー ウンパッパ ◎ティニックリング ○チャチャマンボ ◎マンボナンバーファイブ</p>	<p>●拍の流れにのって、友達と声を合せて歌ったり、身体表現したりして楽しむことができるようにする。</p>	<p>○作者の思いを想像しながら聴いたり歌ったりする。 ○歌詞の内容を理解し、フレーズや曲の盛り上がりを感じ取って歌う。</p>
<p><にっぽんのうた みんなのうた> ○春がきた</p>	<p>●情景を想像し、楽曲の気分を活かした表現を楽しむことができるようにする。</p>	<p>○春の様子や気分を話し合い、旋律の流れやリズムに気付いて歌い方を工夫する。</p>

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【音楽への関心・意欲・態度】 音楽に対する興味・関心を持ち、進んで音楽活動を楽しもうとする。</p> <p>【音楽的な感受や表現の工夫】 楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている。</p> <p>【表現の技能】 模範の演奏を聴いて演奏したり、リズム譜に親しんだりするとともに、自分の歌声や発音に気を付けて歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。</p> <p>【鑑賞の能力】 音楽を特徴付けている要素に気を付けながら、曲の気分を感じ取って聴く。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>音楽科では、行動の観察、表現、鑑賞のワークシートなどを手がかりにして、子どものよい点や進歩の状況などを評価します。</p>
---	--

特色ある学習方法

<p>(1) 2年生では、リズム感覚を中心として、音楽表現の基礎的な能力を伸ばしていきます。音楽が聞こえてくると自然に体が動き出す、音楽を体全体で感じ取り、音楽との一体感を求めていく、こうした子どもたちの姿を大切に学習を進めていきます。</p> <p>(2) けん盤ハーモニカの学習では、息の使い方（タンギング）と正しい指遣いで旋律を自分の目と耳で確かめながら演奏します。タンギングは3年生からのリコーダーの指導にもつながります。</p> <p>(3) 音楽の時間に扱う音は、声や楽器の音には限りません。耳を澄ますといろいろな音が聞こえてきます。大きな音や小さな音、長い音や短い音、不思議な音など、こうした音の違いに気付いていくことは、これからの音楽活動を進めていく上で大切な力となっていきます。このことは、「いい音見つけて」で主に学習します。</p>
--

使用教材等

<p>○教科書「おんがくのおくりもの2」（教育出版） ○CD、ビデオ、歌集、楽器など</p>
--

留意事項

<p>(1) 夏休みには、けん盤ハーモニカの宿題を出します。タンギングにも気を配り、教科書の絵譜をみながら指遣いに気を付けて練習します。ご家庭でのけん盤ハーモニカの練習にご協力をお願いします。励ましの言葉をかけてあげてください。</p> <p>(2) 「おちゃらかほい」などの手遊び歌やわらべうたを使って遊びます。保護者の方がご存じの「遊び歌」を子どもたちに伝えてあげてください。遊びながら自然に拍の流れを感じ取っていきます。</p>
